## 餘慶寺だより

編集・発行　上寺山餘慶寺
〒701－4232 岡山県瀬戸内市邑久町北島1187
納経所　TEL　086－942－0186　FAX 086－942－0187
恵亮院　TEL/FAX 086－942－3788
本乗院　TEL　086－942－2791　FAX 086－239－5823
吉祥院　TEL/FAX 086－942－3789
定光院　TEL　086－942－2356　FAX 086－944－1490
明王院　TEL　086－943－1030　FAX 086－943－1069
圓乗院　TEL　086－942－2356
ホームページアドレス　https://yokeiji.or.jp/


一口法話

## 父の日

六月の第三日曜日は、何の日ですかと尋ねられて、すぐに「父の日」ですと答えられる人はあまり多くないように思います。

しかし、その忘れがちになっているということが、世の父の姿を如実に表しているとも言えるのではないでしょうか。

母の日にカーネーションを贈るのは知っていても、父の日には何が良いのかすぐには浮かびません。

「亭主元気で留守がよい」という言葉も聞かれますが、世の子どもたちは、皆その父母の庇護と恩愛に支えられて成長していくものです。

母親はいつも子どもたちの身近にいることが多く、父親は一家の担い手として外で働いており、家族を養い守っています。このような理由から「父の日」はついつい忘れがちになってしまうのではないでしょうか。

仏教には「四恩」という四つの恩があります。第一に父母の恩。次に衆生の恩。衆生とは生きとし生ける全てを表します。三つ目に国王の恩。国土や安心できる国作りをする長を示します。最後に三宝の恩。三宝は仏・法・僧（尊き存在とその教え、そしてその教えを信じる同志）を指します。

『父母恩重経』というお経に、世の親と子の関わりあいについて、父を天、母を地として「父母の恩は山よりも高く海よりも深し」との教えがあります。

生まれてから長く成長を見守る両親への感謝をし、その恩を返す道は、父母を通じて多くの人々や社会を知り、直接、間接に受けている天地自然の大きな生命の恵みによって生かされている自分の姿に目覚めることだと説かれています。

さらに仏様は「一切の生命あるものは、みな共々に父母兄弟」とも諭されています。

父母の恩は決して見返りを求めたものではありません。父の日は、母の日とともに深い感謝と生命の尊さを思い、自らを深く顧みる日としてはいかがでしょうか。

### 新型コロナウイルスに関しての参拝のお願い

上寺山餘慶寺では各諸堂に消毒用のアルコールを設置しておりますので参拝をされる際はアルコール消毒をお願いしております。

餘慶寺
HPアドレス
https://yokeiji.or.jp/
QRコード

### 餘慶寺からのお知らせ

**薬師縁日（於　薬師堂）**

**毎月８日　午前10時～　　（８月はありません。）**
護摩祈祷をしています。ご祈祷のお申し込みは随時納経所で受け付けています。

**観音縁日（於　本堂）**

**毎月18日　午前８時～**
みんなで観音経をあげます。お経本は本堂にありますので、お気軽にお詣りください。

**福鈴まつり、今年も開催します。詳しくは別紙ご案内をご覧ください。**



**毎月第二日曜日 午後二時より阿弥陀堂にて納骨堂説明会を行っています。**

## 餘慶寺境内紹介

### 愛宕社と石垣

三重塔の北に石の鳥居が二つ並んでいます。向かって右が山王社、左が愛宕社です。

この愛宕社の西に築かれている石垣の修復工事は、弁天池の改修にも用いられた「穴太積み」によって令和三年七月から行われ、工事過程は昨年秋の寺宝展でも公開させていただきました。石垣修復にあわせて石の鳥居もなおし、安心してお参りしていただけるようになりました。

愛宕社には愛宕大権現の本地仏（本来のお姿）である勝軍地蔵をお祀りしています。大陸風の甲冑をつけ、右手には錫杖、左手に宝珠を持ち、白馬に乗った姿で、平安の昔から火除けの神様として、また戦勝の神としても崇拝されてきました。

餘慶寺では七月二十三日に愛宕会を厳修しております。お参りの際には、修復の終わった石垣もぜひごらんください。

## よけいじ寺子屋だより

会場：餘慶寺会館（十四時～）

寺子屋写真館

### 今後の予定

☆『般若心経と観音経』　六月二十六日（日）
講師　恵亮院住職　土井内 祐真 師

☆『元三大師良源について』　七月九日（土）
講師　明王院住職　岡本 昌幸 師

※どなたでも聴講できます。（無料）
お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

※新型コロナウイルス感染防止のため当面の文化講座は中止とさせていただきます。

又、八月はお盆期間中のため、寺子屋はお休みします。

### 編集後記

皆さま、お変わりなくお過ごしでしょうか、積善編集の祐聖です。

ＧＷ行事の花手水企画の準備で竹を切りに行くと、たくさん蚊に刺されちゃって季節を疑いました。

桜の季節も終わり暑い夏がもう近づいてきておりますので、皆様も急な暑さに負けないように頑張りましょう。　合掌

餘慶寺×西大寺コラボ企画

# 両界マンダラ三重塔巡り

## ～花詣（はなもうで）～ご報告

五月一日～八日のGW期間中餘慶寺と吉井川を挟んだ西大寺観音院の両寺院にて合同企画イベント「両界マンダラ三重塔巡り　花詣」が行われました。

餘慶寺と西大寺の三重塔は同じ邑久の宮大工集団が建てた力作で、両寺院の塔のご本尊、大日如来（西大寺は胎蔵界、餘慶寺は金剛界）の功徳を授かる両界マンダラ三重塔巡りを開創し、令和元年より様々な企画を行ってきました。

昨今のウクライナ情勢から世界平和についてより一層考え、祈る場所を作ろうと考え諸仏諸菩薩に手を合わせれる場を設けさせていただきました。

また、ウクライナの国旗の色でもある青と黄の鯉のぼりを用意し皆様に平和の祈りを込めたメッセージの寄せ書きをしてもらい掲揚させていただきました。

四日、五日には新型コロナウイルス感染予防として使用を自粛していた手水舎や蓮池、蓮鉢に色とりどりの花を活ける花手水企画や念珠作りなどのワークショップを行いました。

餘慶寺、西大寺はこれからも皆様と共に世界平和を祈り続ける寺院であるように、日々精進してまいります。

合　掌

古い塔婆のお焚き上げや、古い盆提灯の供養もしていますので餘慶寺本堂へお持ちください。

## 写経会（しゃきょうえ）のお知らせ

例年七月一日～三日の早朝に開催していた餘慶寺如法経会（写経会）ですが新型コロナウイルスの感染防止の為、日中写経会に変更させていただきます。

詳しくは、別紙ご案内をご確認ください。

## 寺遊び inよけいじ のお知らせ

上寺山餘慶寺では、子どもたちにもっとお寺を身近に感じてもらうとともに、お寺での遊びを通して、子どもたちの個性豊かな感性を育む「寺遊び inよけいじ」を開催します。

スタッフのお坊さんたちが心をこめてお世話させていただきます。

夏休みのすばらしい思い出をいっしょに作りましょう！

詳しくは、別紙ご案内をご確認ください。

## 餘慶寺 水まつり

今年も八月最終土曜日（八月二十七日）の十八時より、恒例の水まつりを開催いたします。

まず「施餓鬼会」法要では、三界万霊、すべての命を供養し、その功徳がご先祖様やご家族、自らにも分け与えられます。餘慶寺の各院僧侶がおつとめをし、ご参拝の皆様も、本堂に設置された水棚に進んで経木塔婆の供養をしていただきます。

引き続き「万灯会」がとり行われます。境内は、供養の灯りで幻想的に照らし出されます。

夏の終わりは、ご家族お揃いで上寺山餘慶寺へ、お参りください。

※新型コロナウイルスによる感染状況次第で延期・中止の可能性があります。